



伝えたいのは
コトバ、キモチ

特集 手話の聖地、10年



手話の聖地、10年

特集



鳥取県は、ろう者とろう者以外の人とが互いを理解し共生できる社会を築くことを理念に掲げ、全国に先駆けて平成25年に「手話言語条例」を制定しました。翌年、第1回全国高校生手話パフォーマンス甲子園を開催し、今年第10回の節目を迎えます。出場した高校生をはじめ多くの人々が“手話の聖地”鳥取県に集い、絆を深めてきました。

共に生きる社会目指し
広がる輪

障がいのあるかたが暮らしやすい社会を、一人一人の理解とちよとした気配りで目指していく「あいサポート運動」発祥の地、鳥取県。共生社会の一層の推進を図るため「手話言語条例」を定めて10年が経ち、条例制定翌年から毎年開催してきた全国高校生手話パフォーマンス甲子園も10回を数えます。今大会をもってすべての都道府県から



第10回大会予選参加校 県立米子東高校



第10回大会予選参加校 鳥取城北高校

の参加があり、本年過去最多の69チームがエントリーするなど着実に共感の輪が広がっています。
手話パフォーマンス甲子園では、全国の高校生が歌やダンス、演劇、コントなど手話言語を使ったさまざまなパフォーマンスを繰り広げます。互いに切磋琢磨する高校生たちのパフォーマンスを通じて、手話言語が魅力ある優れたコミュニケーションの手段であることを発信してきました。

生徒の自主性尊重し、世界広げる

「ここ、顔は上げる？下げる？」
「前向いてた方がいいよね」「うん、じゃあみんな前で統一しよう」。真剣な表情で意見を交わすのは、県立米子東高校ダンス部の1年生。同部では、例年1年生が手話パフォーマンス甲子園にエントリーしており、選曲から振り付けまで、手話通訳者の指導を仰ぎながら生徒自身が手掛けています。昨年の大会に出場した2年の金本恋さんは、

「入学したばかりでお互いのことをまだよく知らない中で、意見をぶつけ合い、尊重し合える関係を築けたことが財産。それに、ほかの学校の演技を見るのもすごく勉強になりました。こんなにいろんな方法で気持ちを伝える表現ができるんだ、と感動したことをよく覚えています」と振り返ります。

「医療、福祉系の進路を志す生徒も多いので、手話を学び、ろう者のかたと交流することの意義は大きい。普段接することの少ない世界に触れることで、視野を広げてほしいと考えています」と話す、顧問の廣江淳一教諭。手話パフォーマンスを通じて毎年一回り大きく成長する1年生の姿を見て、目を細めます。

国境を越えて通じ合う

一方、第1回大会からすべて参加している鳥取城北高校ボランティア部では、毎年テーマを定めて特色あるパフォーマンスを作り上げてきました。昨年は、アーティストとしても活躍する石畑晴一朗さん(当時3年)のイラストと絵本を題材とし、

当時1年の石坂心さんと2人だけで演技に臨む大胆な構成で挑戦しました。

そして今年のテーマは「世界の手話」。英国、インドネシア、中国と国際色豊かなルーツを持つメンバーの強みを生かし、各国での手話表現の違いや共通点に着目して演技を構成しています。生徒たちは、より伝わるようにと表現や演出を工夫しながらパフォーマンスに臨みました。2回目の参加となる石坂さんは、「母がインドネシア人で、国での手話表現を調べてもらい一緒に練習するうちに、インドネシア語にも興味を持つようになりました。ほかの国の手話を学べるのも楽しいし、人前で演じることで自分に自信が持てるようになった」と言葉を弾ませます。

顧問の安藤章夫教諭は、「部では元々ろう者のかたとの交流があり、指導にも協力していただいている。手話パフォーマンス甲子園はその集大成としてしっかり成果を見ていただけるよう心を込めて取り組んでいます」と感謝を口にし、今後の更なる進化を誓います。

The voice of participants /

参加者に聞きました



1年生リーダーとして皆をまとめる(中央)

ダンスはずっとやってきたけれど、手話は初めて。ちょっとした動きの違いで意味が変わってしまうこともあり、ダンスの中で正しく表現するのが難しかったです。みんなで相談しながら、手話もダンスも楽しんで取り組みました!



米子東高等学校 ダンス部 1年
やまもと りんか
山本 凜歌さん



鳥取城北高等学校 ボランティア部 3年
たけうち あき
竹内 逢妃さん

将来は教員を目指していて、障がいのある子どもにも対応できるようにとまずは手話を勉強しています。第8回大会にも出場し、たくさんの人と交流して多くの刺激やアイデアをもらうことができ、とても良い経験になりました。



出場経験も生かし部員を引っ張る存在に(左端)

次の世代へ

手話パフォーマンス甲子園では、ゲストとして鳥取市立宮ノ下小学校と県立鳥取聾学校小学部の児童が「手話チャレキッズパフォーマンス」を披露。両校は、手話言語を通じて交流を進めており、大きな舞台で日頃の成果を発表します。幼いうちから手話に親しみ、きこえの違いを越えてコミュニケーションを深める経験を得ることで、共生社会の礎となる相互理解を推し進め

ようという取り組みです。

10年前の鳥取県手話言語条例制定をきっかけに、全国で同様の条例が作られる動きが広がっています。制定した自治体は、都道府県では実に8割近くにのぼり、多くの人が待ち望んでいたものであることを物語っています。

鳥取県は、トップランナーとして名実ともに手話の聖地であり続けられるよう、誰もが暮らしやすい社会をこれからも目指し続けていきます。



披露する手話歌の練習に取り組む宮ノ下小学校と鳥取聾学校の児童。初めは緊張もあったものの、次第に笑顔がこぼれる

☎ 県庁障がい福祉課

☎ 0857-26-7682 F 0857-26-8136

TOTTORI SHUWA FES

手話で広がる、エンターテインメント

とっとり手話フェス

TOTTORI SHUWA FES

2023 9.16 sat → 24 sun

とりぎん文化会館

手話言語条例制定10周年を記念し、手話パフォーマンス甲子園と合わせて1週間にわたりLIVEやワークショップ、映画上映など盛りだくさんでお送りする「とっとり手話フェス」。「手話で広がる、エンターテインメント」をテーマに、どなたでも楽しめるメニューばかり！ぜひチェックしてみてくださいね。



第10回 全国高校生手話パフォーマンス甲子園

■日時/9月24日(日) 9:30~16:10

■会場/とりぎん文化会館 梨花ホール





食のみやこ→食パラダイスへ!



食パラダイス鳥取県

Food Paradise Tottori Prefecture
美食天堂鳥取県 美食天國鳥取縣 맛의 천국 돗토리현

「食のみやこ鳥取県」というフレーズやロゴマーク。飲食店や食品売場などで見聞きしたことがあるのではないだろうか。県民が食の豊かさや食文化を実感し、誇りを持てる風土づくりを進めてきた「食のみやこ」がこのたび「食パラダイス」に進化しました。

6月には砂丘の器にさまざまな特産品を詰め込んだ新たなロゴを発表。「美味しすぎてシヨック!」をキャッチコピーに、スイカや梨、鳥取和牛に松葉ガニなど鳥取県自慢の

「シヨック」な美味しさを詰め込みました。

「食パラダイス鳥取県」では豊かな食の魅力を磨き上げ、観光振興につなげる取り組みも一層推し進めていきます。

また、世界に誇るべき鳥取県の農林水産物を国内外に力強く発信し、販路の開拓や輸出拡大、国内外からの幅広い層の誘客促進を図ります。

さらには、県民自らが行う県内各地域の食の魅力の発信も後押ししていきます。

9月1日から11月30日は、

「食パラダイス」アンバサダー募集

「食パラダイス鳥取県」推進の趣旨に賛同し、その実現に向けて新たなチャレンジを行う「食パラダイス鳥取県」アンバサダーを募集しています。

とっとりもつと地産地消月間です。

鳥取県内のスーパー、直売所、飲食店など各店でさまざまな地産地消企画が実施されます。「鳥取県産を選ぶ」、「鳥取県産食材を扱うお店を選ぶ」など、改めて地元食材の魅力に触れ、その美味しさを再認識してみませんか。

ポスターやポップ、のぼりなどが目印。もつと!地もつと!食べよつと!を合言葉に、日々の地産地消の推進にぜひご協力ください。

▶▶ 問 県庁食パラダイス推進課
☎0857-26-7834 F 0857-21-0609



「ウェルカニ」本年度で10年目

鳥取のカニを全国に発信する「蟹取県 ウェルカニキャンペーン」が本年度で10年目を迎え、節目にあたる本年を「カニバーサリー(カニアニバーサリー)」と称し、キャンペーンを展開していきます。

また、アンバサダーに、人気お笑い芸人「ぼる塾」が就任!蟹取県と手を取り合って、キャンペーンをさらに盛り上げていただきます!



▶▶ 問 県庁観光戦略課
☎0857-26-7267 F 0857-26-8308





手話を覚えてみよう▶▶「命を大切に」



右手拳を左胸に当て、



膨らませて伏せた左手甲の上方で湾曲させた右手を水平に回す

監修/公益社団法人鳥取県聴覚障害者協会
☎0859-30-3720 📠0859-30-3131



9月10日～16日は「自殺予防週間」

県内の自死者数は減少傾向にありましたが、令和2年、3年に増加しました。自死を身近な問題としてとらえ、予防について考えてみませんか。

県では、電話・来訪・LINEなどによる相談を受け付けています。相談窓口など、詳しくはこちら



読者の声

(7月号の意見・感想から)

- 表紙の倉吉張子の可愛さに、思わずページをめくりました。白兔神社は八頭町にもあるんですね。今度、ぜひ立ち寄りたいです。(50代)
- 鳥取砂丘での月面実証実験、夢がありますね。これから本格始動とのこと、今後の宇宙産業への貢献を期待したいです。(30代)
- 更生保護ボランティアのかたがたのご尽力に敬服します。温もりのある世の中を築いて行かなければ、と強く思います。(60代)



7月号には531人からご意見をいただきました。ありがとうございます。これからもご意見、ご感想をお待ちしています。

DATA

県人口/538,525人
(男 257,677人、女 280,848人)
世帯数/221,747世帯
(2023年7月1日現在推計)



県産品プレゼント

梨とエキナセアのオーガニッククラフトコーラ【5名】

大山町産品おみやげブランド「OMOTASE DAISEN」から、オーガニッククラフトコーラをお届け。すっきりとしたスパイシーな甘さの後に、ほのかに梨とエキナセアが香ります。



📍 大山スマイルファーム(大山町) ☎050-3395-2455



手話言語条例制定10周年を記念して、“手話で広がるエンターテインメント”「とっとり手話[]」を9月に開催します。空欄に入るのは次のうちどれでしょう

- ①フェス ②まつり ③デイズ

【応募方法】

クイズの答え、郵便番号、住所、氏名、電話番号、年齢と「県政だより」を読んだ感想・意見をお書きの上、次のいずれかの方法でご応募ください。

※当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます。はがきなどに書かれた個人情報、感想・意見は、プレゼントの発送と「県政だより」記事作成の参考として使用し、これらの目的以外には使用しません。

■応募締め切り 9月20日(水)必着



- はがき 〒680-8570 鳥取県広報課「県産品プレゼント」
- 電子メール dayorip@pref.tottori.lg.jp
- 県ウェブサイト応募フォーム <https://www.pref.tottori.lg.jp/dayorip/>

◎ 8月号のクイズの答えは「③AIR」でした。



LINE @tottori.pref_line



Instagram @tottoripref



Twitter @tottori_kouhou



Facebook @tottori.pref.kouhou



🗨️ 問い合わせ先 📄 申込先 ☎️ 電話 📠 ファクシミリ 📧 メールアドレス

カラフルな色合い
食卓を彩り豊かに

[材料] (2人分)

- 鳥取和牛切り落とし……………200g
- さつまいも(紅はるか)……………小1本
- ミニトマト……………6個
- オイスターソース……………大さじ1
- 醤油……………小さじ1
- ごま油……………小さじ2
- 塩・コショウ……………適量

[作り方]

- ①さつまいも小1本は皮付きのまま5cmの長さに切り、5mm四方の棒状に切り、水にさらす。
- ②ミニトマト6個を半分に切り、和牛の切り落とし200gは大きければ食べやすく切る。
- ③フライパンにごま油を中火で熱し、さつまいもの水分を拭いて、約4分炒める。



“季節野菜”を食べる!
牛肉とさつまいものオイスター炒め

【協力】JA鳥取いなば



食パラダイス鳥取県

- ④色が鮮やかになったら端に寄せ、牛肉を加えて炒める。
- ⑤肉の色が変わったらオイスターソース、醤油を加えて炒める。
- ⑥ミニトマトを加えて炒め合わせて完成(途中、塩とコショウで味を調える)。

県からのお知らせ

県職員採用試験(障がい者対象)

- 受験資格/1984年4月2日から2006年4月1日までに生まれたかた
- 対象者/身体障害者手帳(1級から4級)または精神障害者保健福祉手帳を交付されているかた
- 募集職種/事務・警察行政
- 申込期限/9月13日(水)
- 第一次試験日/10月22日(日)

問 県人事委員会事務局
☎ 0857-26-7552 ☎ 0857-26-8119



9月12日は県民の日!

1881(明治14)年のこの日に現在の鳥取県が誕生しました。ふるさとを愛する心を育てる行事が県内各地で開催されます。

問 県庁県民参画協働課
☎ 0857-26-7751 ☎ 0857-26-8112



イオンと連携した「とっとり県民の日」イベント

「とっとり県民の日」を記念し、鳥取県の食や魅力を再発見するきっかけとなるイベントをイオンモール鳥取北、イオンモール日吉津にて開催します! 皆様、ぜひ会場にお越しください。

- 日時/9月8日(金)~9月12日(火)
 - 場所/イオン鳥取北 1階 セントラルコート 他
イオン日吉津 1階 チューリップコート
 - 内容/ねんりんピックPR等ステージイベント、県立美術館(R7春開館)等による各種ワークショップ、パネル展示、物産展
その他、県内各スーパー(協力店舗)での一斉PR、県有施設の無料開放等を実施します。
- ※詳細内容が決まり次第ホームページに順次アップします。

問 県庁県民参画協働課
☎ 0857-26-7751 ☎ 0857-26-8112



広告 KUMON



くもん書写教室の先生になりませんか

教室開設説明会

- 鳥取 9/6(水) 10:00~12:00
鳥取県立生涯学習センター(県民ふれあい会館) 小研修室1 (JR「鳥取駅」南口より徒歩3分 ※駐車場あり)

Zoomによるオンライン説明会
予約制(2日前までに要予約)

- 9/9(土) 10:00~ ●10/8(日) 14:00~(各30分)

※ご予約いただいた方にミーティングIDとパスワードをお知らせします。

指導者養成プログラムで
未経験でも安心!

9月無料体験学習
(9/10~9/30)
生徒募集中!

●25歳~60歳(女性)の方をお願いしています。

●ご参加が難しい方もお気軽にお問い合わせください。

ペン習字

かきかた

筆ペン

毛筆

株式会社 公文エルアイエル

公文書写 先生 検索

☎ 0120-410-297

岡山市北区下石井2-1-3 岡山第一生命ビル8階

設立 13周年記念企画 広告

令和4年
完成建物



期間限定特典あり

令和5年9月30日までに
ご契約いただいた方対象

建売物件、土地、など
詳しい不動産情報は、
ホームページでご覧いただけます。
ご希望の学区区なども
お気軽にご相談ください

土地情報はこちら→



お問合せ ~未来に輝く街づくり~

TEL.0857-30-4330

スタジオ昴 株式会社

〒680-0843 鳥取市南吉方1丁目112番地1
E-mail : support@studio-subaru.co.jp

■鳥取県知事(2)第1359号 ■中国地区不動産公正取引協議会員

■(公社)鳥取県宅地建物取引業協会会員

※広告は広告主の責任において掲載しています。広告内容などを県が推奨するものではありません。